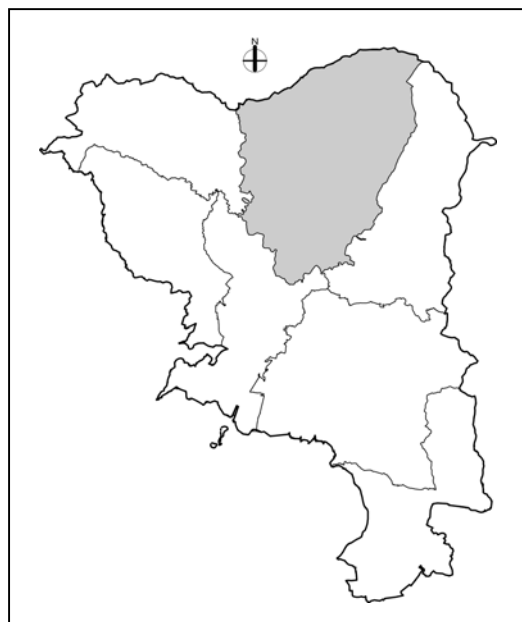


## 5. 牧園地域

### 5-1 地域の現況特性と主要課題

#### (1) 現況特性

- ・ 牧園地域は、霧島観光の中核となる地域で、国道223号が東西に通り、JR肥薩線の霧島温泉駅が立地しています。
- ・ 人口は、平成17年時点において8,832人であり、近年減少を続けています。また、高齢化率は32.4%となっています。
- ・ 標高の高い山地と麓の丘陵部からなり、山麓の谷筋等に農地・集落地としての土地利用がみられるほか、高千穂地区等に温泉街が形成され、山麓部には別荘地が分布しています。
- ・ 霧島屋久国立公園の美しい自然や多くの温泉資源に恵まれており、坂本龍馬の新婚旅行の逸話も残る観光地として知られています。また、農林業も盛んな地域です。
- ・ 牧園総合支所周辺には、主要な公共施設が集積し、霧島温泉郷周辺等には霧島高原国民休養地、みやまコンセール等の観光資源があります。
- ・ 地域の中心が南北にかけて牧園都市計画区域に指定されています。



#### (2) 主要課題

- ・ 数々の観光・レクリエーション資源を活用しながら、広域的な観光・交流機能を強化し、滞在型の観光地としての魅力を高めていく必要があります。
- ・ 少子高齢化が進行していることから、高齢者の生活を支え、若者が定住する定住環境の整備を図り、地域の活力を維持することが求められます。
- ・ 地域住民の利便性向上と観光交流の促進を図るため、地域内外と連携する道路網の整備や公共交通の再編・充実に努める必要があります。
- ・ 地すべり危険箇所や土石流危険渓流等における自然災害の防止、集落等における生活環境の向上に努め、快適で安心・安全な地域づくりを進める必要があります。
- ・ 北部や南部の水田、台地上の茶園・畑などの農地の保全や生産環境の維持向上とともに、霧島屋久国立公園の森林をはじめとする、優れた自然環境の保全・活用を図ることが求められます。



豊かな自然と調和した霧島温泉郷

## 5-2 将来の整備目標

## (1) 将来イメージ

魅力あふれる自然環境と共生し、たすけあい、  
ともに暮らす、活力ある温泉と観光のまち

## (2) 整備目標

霧島温泉郷、安楽・妙見<sup>みょうけん</sup>温泉周辺を「観光・レクリエーション拠点」とし、自然資源を保全・活用しながら、観光資源の充実・ネットワーク化を図り、広域的な観光交流の促進と活力ある地域づくりを進める

牧園総合支所周辺を観光地への玄関口となる「地域拠点」と位置付け、地域の活性化や生活利便性の確保等に向けた土地利用を推進するとともに、良好な住環境等を保全し、拠点性の維持・向上を図る

快適で安心・安全に暮らすことができる魅力的な定住環境づくりを進める

## 5-3 まちづくりの整備方針

## (1) 土地利用の方針

- ・地域拠点を除く丘陵森林農業地域については、無秩序な市街地の拡大を抑制するエリアとして位置付け、自然と調和した地域環境の維持に努めます。
- ・農業施策との連携を図りながら、農業生産基盤の整った優良農地の保全に努めるとともに、未整備地区における整備の推進を図ります。
- ・高千穂小学校周辺の宿泊施設や商業施設が集まる地区、また、霧島高原国民休養地の周辺などにおいては、森林に囲まれた良好な環境を保全しながら、観光レクリエーション地区としての土地利用を図ります。
- ・安楽・妙見<sup>みょうけん</sup>温泉、霧島温泉郷は自然と調和した観光地としての土地利用を図ります。
- ・山岳森林地域については、水源涵養<sup>かんよう</sup>機能を担う保安林等の適切な維持管理に努め、健全な森林としての保全を図ります。
- ・霧島屋久国立公園の自然環境を保全するとともに、丸尾温泉や硫黄谷温泉、明礬<sup>みょうばん</sup>温泉などの美しい景観が損なわれないよう適切に土地利用を誘導します。

## (2) 市街地整備及び住環境整備の方針

- ・牧園総合支所周辺については、商店や医療機関などの身近なサービス機能を維持し、既存住宅地における良好な住環境の保全を図るとともに、霧島連山を中心とする観光地への玄関口として、地域環境や景観に配慮しながら活性化を図ります。
- ・高千穂地区においては、街なみ環境整備事業を推進するとともに、必要に応じて面的整備等の実施の可能性を検討します。

- ・集落地や別荘地については、周辺の森林や農地との調和を図りながら、住環境の維持・改善を図ります。

### (3) 道路・交通施設整備の方針

- ・市中心部や隣接地域へのアクセス性を確保し、地域住民及び観光客の利便性を高めるため、渋滞解消や災害に強い道路づくり、観光地にふさわしい景観づくり等に配慮しながら、周辺地域と結ぶ幹線道路網の充実を図ります。
- ・国道223号やその他幹線道路等の整備予定区間の改良・整備促進に努めるとともに、都市計画道路<sup>さんたいどう</sup>三休堂線の整備促進を図ります。
- ・横川地域から本地域、霧島地域、福山地域を経て国道10号に至る外環状線、本地域と隼人地域を結ぶ中央道線の整備を検討します。
- ・路線バス、ふれあいバスのダイヤ調整を行うなど地域公共交通の見直しを行い、日常生活において公共交通を必要とする市民の移動環境の向上に努めます。
- ・JR霧島温泉駅周辺における駐車場・駐輪場の整備や駅構内での地域公共交通に関する積極的な情報提供に努めます。

### (4) 都市公園・緑地整備の方針

- ・(仮称)霧島中央公園の全体基本構想をもとに、有効な事業導入による段階的な整備計画の検討を進めるとともに、街区公園や近隣公園など身近な公園の配置を検討します。

### (5) 下水道・河川整備の方針

- ・高千穂地区については、特定環境保全公共下水道事業の認可区域全域での供用を目指し、下水道の整備・普及を図ります。その他の地区については、合併処理浄化槽の普及を推進し、生活環境の向上を図ります。
- ・中津川、石坂川、<sup>まんぜん</sup>万膳川、小谷川等の河川については、小谷川の改修をはじめ特性に応じた総合的な治水対策を進めるとともに、豊かな水辺環境の創出を検討します。
- ・特に、高千穂地区においては小谷川の親水空間の整備に努めます。また、石坂川、中津川など<sup>あもり</sup>奥天降川流域の保全・活用と水辺空間の創出に努めます。

### (6) 供給処理関連施設整備の方針

- ・<sup>さんたい</sup>三休・浅谷第2配水池、中津川配水池の整備を図るとともに、簡易水道施設の適正な維持管理に努めます。また、地域内に立地する牧園・横川地区し尿処理場、牧園城山不燃物処分場の適正な維持管理に努めます。

## (7) 都市環境形成と保全の方針

- ・土地利用の適切な規制・誘導と市民・行政の協働により、国立公園内の森林、集落周辺や新川<sup>しんかわ</sup>溪谷沿いの斜面緑地など本地域の特色である優れた自然環境の維持・保全を図ります。また、観光施設の開発等により良好な環境の喪失が懸念される場合は、必要に応じて緑地保全地域等の指定を検討します。
- ・関係法令に基づき、ノカイドウ自生地など霧島山系で数多く確認されている貴重な動植物の生息・生育環境を保全します。
- ・霧島高原国民休養地や森林セラピー基地に指定されたウォーキングロード周辺の環境を保全・活用し、訪れる人に癒しの空間を提供するとともに、環境学習や自然とのふれあいを促進します。

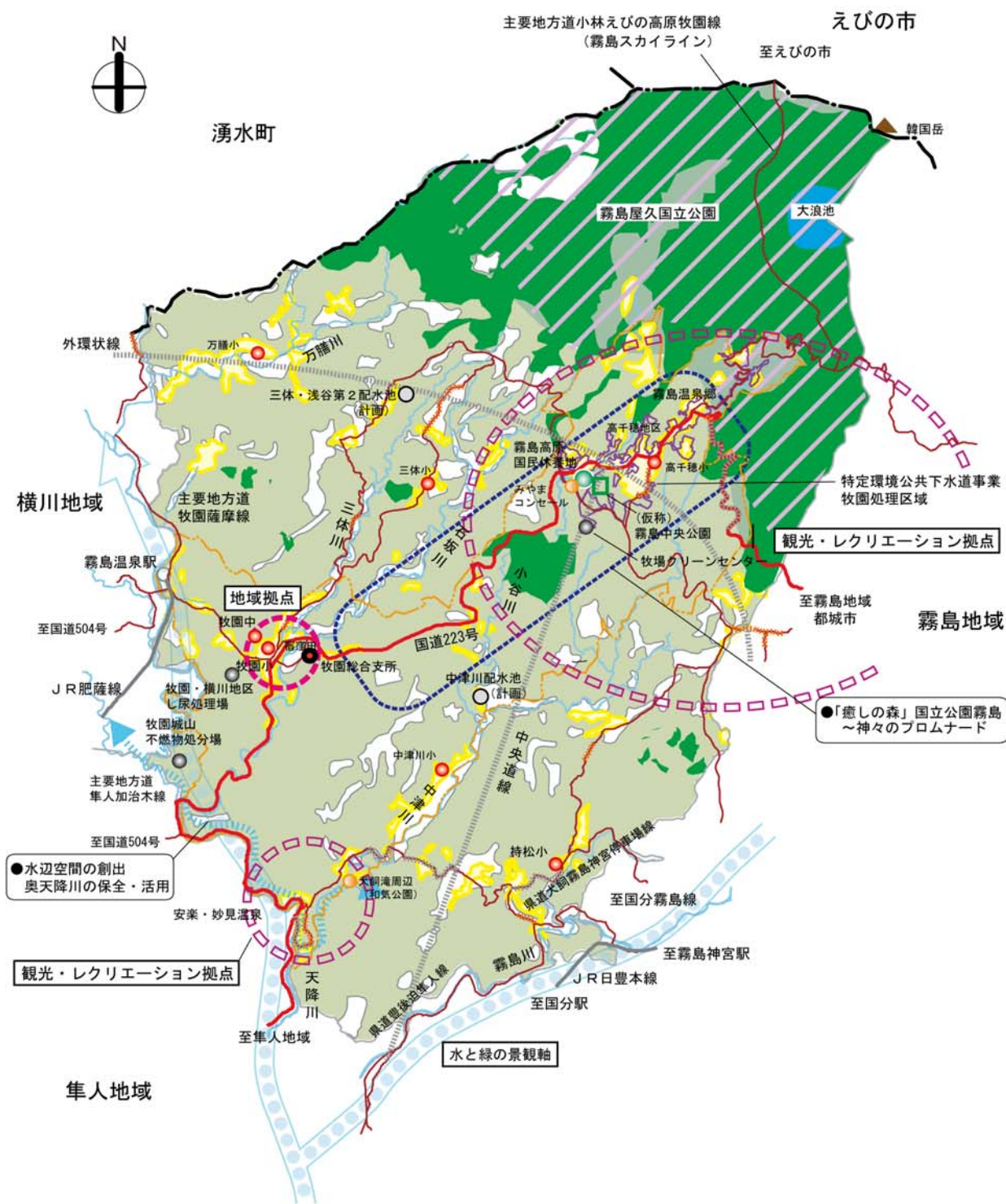
## (8) 都市景観形成の方針

- ・天降川<sup>あもり</sup>に沿った景観を「水と緑の景観軸」と位置付け、流域における重要な景観資源を保全・活用していきます。また、霧島連山～錦江湾～桜島を結ぶ「視軸」の眺望を保全・活用します。
- ・丸尾滝、犬飼滝などの自然的景観、広大な茶畑などの田園景観、主要地方道小林えびの高原牧園線や国道223号沿いの風致景観、自然と一体となった温泉地の景観など本地域の特色ある景観を地域の誇りとし、市民と行政の協働により保全・創出を図ります。
- ・JR霧島温泉駅前や地域拠点については、観光地への導入地区にふさわしい花と緑あふれる街なみ景観の形成に努めます。
- ・霧島温泉郷周辺の高千穂地区については、観光・文化レクリエーション施設と緑の調和した街なみ景観の形成に努めます。

## (9) 都市防災の方針

- ・国道223号や主要地方道牧園薩摩線、県道犬飼霧島神宮停車場線等の緊急輸送道路においては、防災機能の確保に努めます。また、市有建築物や住宅・建築物の耐震化の促進を図ります。
- ・霧島連山の周辺地域においては、広域的な火山災害対策を推進するとともに、砂防施設や避難道路等の防災に関する諸施設の整備を進めます。
- ・地域住民と行政の協働により地域防災体制を強化し、災害時の被害軽減に努めます。

■ 牧園地域まちづくり方針図



凡例		
土地 利 用		丘陵森林農業地域
		山岳森林地域
		集落地
		農用地
		保安林
		自然公園
		都市計画区域
交 通		主要幹線道路
		幹線道路等
		整備予定道路 (概ね10年以内)
		" (概ね10年以降)
		鉄道・駅
公都 園市		公園 (計画)
そ の 他		下水道事業計画区域
		ふれあい拠点
		河川
		地域界
		行政界